

カナミックネットワークでの情報共有についての同意のお願い

岸和田市医師会在宅医療地域連携室

当院では現在、患者様の在宅療養を在宅主治医医療機関としてサポートさせていただいております。

ご存知のように、在宅療養を円滑に行うには、医療機関だけでなく、介護・福祉の多職種が関わりスムーズに情報を共有することが必要です。

この地域では、岸和田市医師会が在宅医療連携拠点として、インターネットを利用した情報共有システム「カナミックネットワーク」を導入しています。同意を得た患者様の「部屋」をインターネット上に作り、その「部屋」に入る許可を得た関係者だけが、「部屋」の中の情報を読んだり、書き込んだりできるというものです。

例えば訪問した看護師が、患者様が熱を出しているという情報を書き込めば、その患者様の「部屋」に参加している他の関係者に、新しい情報があるという通知が届き、専用の **ID・暗唱記号**（パスワード）を用いてシステムにログインし、部屋に入ればすぐにその情報が読めます。

こうした多職種での情報の共有を通して、よりよい在宅療養のお手伝いができるようにしたいと考えています。

情報の安全性については、この方式では、許可を受けた関係者にしかその患者様の「部屋」があることがわかりませんし、データは暗号化してやりとりされています。また医療・介護職種は職務上の守秘義務を誓約しております。

手順としては、患者様やご家族の同意を得た主治医からの要請で、岸和田市医師会在宅医療地域連携室がカナミックネットワークシステム管理者に、その患者様の「部屋」の作成依頼と、その「部屋」に参加可能な関係者を伝え、各職種にシステム管理者から登録した暗唱記号（パスワード）などが郵送されて参加可能となります。

上記の趣旨をご了解の上、ご同意をよろしくお願い申し上げます。